

# 認定書

国住参建第29号

令和6年4月19日

積水化学工業株式会社  
代表取締役社長 加藤 敬太 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第129条の2の4第1項第七号ハ（防火区画貫通部1時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060FL-0428-1
2. 認定をした構造方法等の名称  
排水管・鋳鉄製継手管／外層付ロックウールシート材・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

排水管・鋳鉄製継手管／外層付ロックウールシート材・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分(中空床を除く)

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ209mm以下)
	面積	0.0343m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積又は鋼製スリーブ内径の面積に対する配管の断面積の割合)		73.6%以下
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート造 厚さ150mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
防振シート (あり又はなし)	使用箇所	材料	外層付ロックウールシート材
		幅	幅：200mm以上、総厚：12.9(±1.5)mm
	本体	材料	①、②及び③(3層) ①内層：ポリオレフィン系不織布付ロックウールフェルト ②中間層：ロックウールシート ③外層：アルミニウム・ガラスクロステープ(接着剤付き)
		寸法	①内層厚さ：10.6(±0.6)mm ②中間層厚さ：2.1(±0.5)mm ③外層：0.2mm以上
		密度	①内層：0.25g/cm <sup>3</sup> ②中間層：0.8g/cm <sup>3</sup>
	接着剤 (外層用)	材料	酢酸ビニル樹脂系
		塗布量	60(±20)g/m <sup>2</sup>
充てん材	材料	セメントモルタル	
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75	
	使用箇所 (使用量)	床と管との隙間 (床厚方向150mm以上密に充てん)	

表3 管の仕様

項目		仕様	
鑄鉄製継手管		種類	Aタイプ(受けロタイプ又は差しロタイプ)又はBタイプ
		材料	本体：ねずみ鑄鉄品(JIS G 5501) 表面処理：エポキシ樹脂粉体塗装(焼付塗装) ゴムパッキン：NBR及びEPDM 押し輪(あり又はなし)：球状黒鉛鑄鉄品(JIS G 5502) 留付材(あり又はなし)：ボルト(M10以下)
		寸法	外径：φ150mm以下、内径：φ140mm以下
排水管 (立て管)	①	種類	①又は②(日本水道鋼管協会規格WSP-042) ①硬質塩化ビニルライニング鋼管 ②ラセン状リブ付硬質塩化ビニルライニング鋼管
		材料	外管：配管用炭素鋼管(JIS G 3452の機械的特性に準拠) 内管：硬質塩化ビニル管(JIS K 6741又はJIS K 6776の機械的特性に準拠)
		寸法	外径：φ114.3mm以下、内径：φ104.7mm以下
	②	材料	排水用鑄鉄管(JIS G 5525)
		寸法	外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下
	③	材料	耐火二層管
		材料	繊維混入セメントモルタル
		組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 70(±10) 無機質混和材・軽量骨材 25(±5) 有機質繊維 5(±1) ただし、無機質混和材：炭酸カルシウム、石灰質、けい酸質繊維 軽量骨材：パーライト、凝灰岩系天然ガラス 有機質繊維：セルロース、パルプ、合成繊維
		寸法	外径：φ130mm以下、厚さ：7.0mm以下
		材料	(1)～(3)の一 (1)硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、JIS K 6742(VP又はVU)) (2)耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776(HT)) (3)リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798(RF-VP))
寸法	外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下		
排水管 (横枝管)		材料	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 (ただし外径及び厚さはJIS K 6741に規定する寸法)
		組成 (質量%)	
		寸法	外径：φ114mm以下、厚さ：7.1mm以下

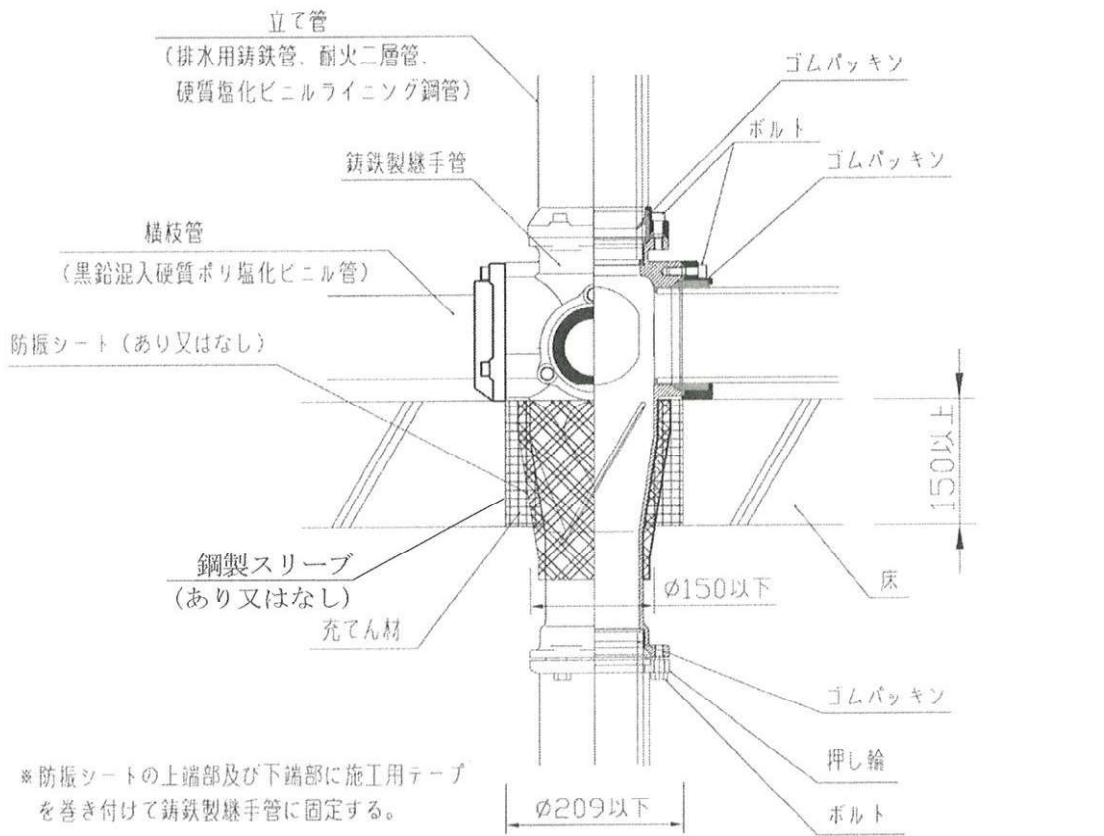
4. 副構成材料の仕様：  
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

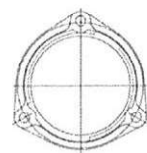
項目		仕様	
施工用テープ	本体	材料	アルミニウム・ガラスクロステープ(接着剤付き)
		厚さ	0.2mm以上
	接着剤	材料	アクリル樹脂系
		塗布量	60(±20)g/m <sup>2</sup>
鋼製スリーブ (開口部補助材)	材料	仕様：あり又はなし ①、②又は③ ①鋼製(めっき処理品含む) ②ステンレス鋼製 ③鋼管	
	寸法	外径：φ209mm以下 長さ：150mm以上(床厚) 厚さ：0.5mm以上	
	使用箇所	必要に応じて、鋼製スリーブ(開口部補助材)を使用してもよい。 (ただし、コンクリート打設後の後付け施工は除く。)	

5. 構造説明図：  
 構造説明図を図1及び図2に示す。

単位 mm



断面詳細図(代表的施工の一例)



押し輪の形状例

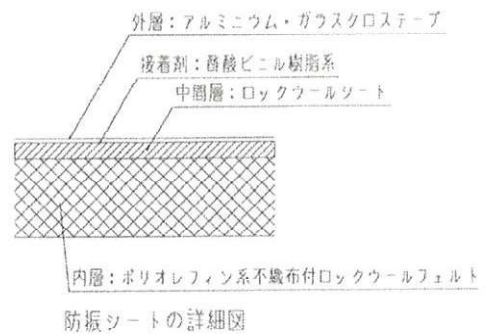
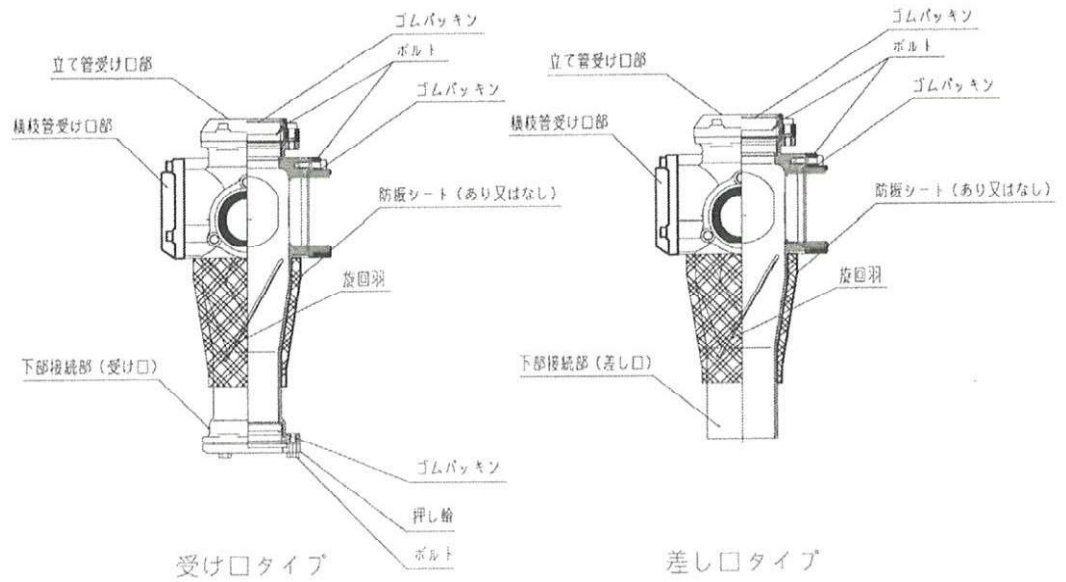
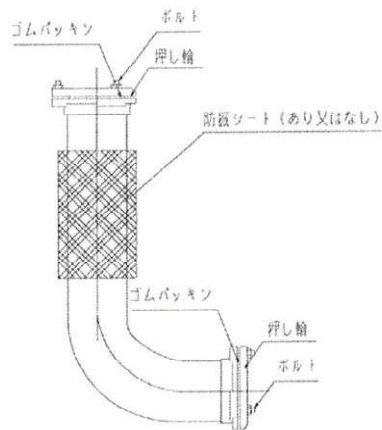


図1 構造説明図(施工図)



Aタイプ



Bタイプ

注) 図の形状は代表例を示す

図2 構造説明図(施工図)

## 6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

### (1) 開口部の確認

開口部の開口面積、管の寸法、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

### (2) 防振シートの巻き付け(防振シートがある場合)

防振シートを所定の長さに予め裁断する。防振シートの上端が、継手が設置される開口部の上面にほぼ一致するように、継手に巻き付ける。(施工上必要に応じて防振シートの上端が、開口部の上面から露出してもよい)

巻き付けの初端と終端は、隙間なく巻き付け、施工用テープのアルミニウム・ガラスクロステープにて貼り合わせる。(オーバーラップしてもよい)

### (3) 継手管と防振シートの固定

防振シートの上端部及び下端部に施工用テープのアルミニウム・ガラスクロステープを巻き付けて継手管に固定する。

### (4) 管と管の接続

継手管の上下接続部に排水立て管を接続する。また、横枝管接続部に排水横枝を接続する。

### (5) 開口部の埋戻し

継手管を所定の位置に設置し、開口部の下部に板等を用いて仮押えし、開口部にセメントモルタルを密に充てんする。